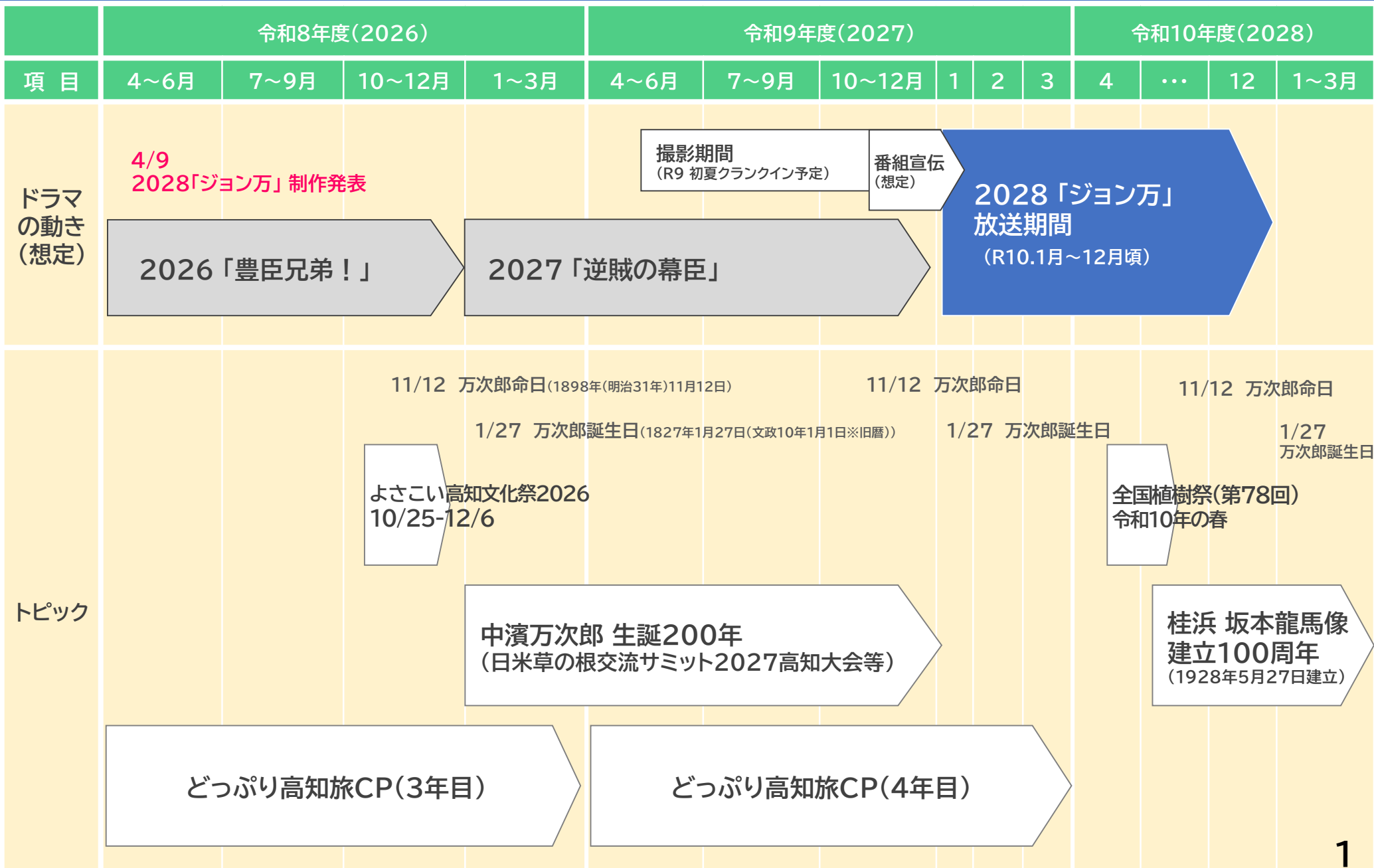


大河ドラマを生かした観光振興の検討の方向性 (今後のスケジュール)



大河ドラマを生かした観光振興の検討の方向性

(これまでの対応)

1 龍馬伝 (参考)放送期間:平成22年(2010年)1月3日~11月28日 県外観光客入込数:435万人(平成22年)

実施形式	県全体で実施する博覧会(県、市町村、関係団体により組織する推進協議会が主体)
概要	産業振興計画の実践面での加速や、「花・人・土佐であい博」のステップアップにつなげ、県下全域に広がるよう展開

2 らんまん (参考)放送期間:令和5年(2023年)4月3日~9月29日 県外観光客入込数:472万人(令和5年)

実施形式	県全体で実施する博覧会(県、市町村、関係団体により組織する推進協議会が主体)
概要	連続テレビ小説『らんまん』を県観光の振興に最大限に生かすとともに、ひたすら草花を愛し続けた牧野博士の精神や功績を後世に引き継いでいく取り組みを展開

3 あんぱん (参考)放送期間:令和7年(2025年)3月31日~9月26日 県外観光客入込数:457万人(令和7年)

実施形式	県のキャンペーンの中で実施する地域博(物部川DMO及び物部川エリア3市が主体)
概要	地域の自然・文化・歴史・食など「ものべだけのベストな旅」楽しんでいただく取り組みを展開(県の「地域観光振興交付金」・「観光振興推進総合支援事業費補助金」を活用)

(今後の対応案)

ジョン万 (参考)放送期間:令和10年(2028年)1月~12月(予定)

- ① 大河ドラマの放映をもとに、様々な形で本県の魅力が発信されることは、**県政の最重要課題**である地産外商やUIターン促進などの**人口減少の克服に向けて大きな追い風**となること
- ② **どっぴり高知旅CPの取組**を通じて、体験プログラムや分散型ホテルなど**県内各地で長期滞在する基盤が整い**つつあり、大河ドラマの取り組みと**組み合わせることで高い相乗効果**が期待できること
- ③ 関係市町村、宿泊業をはじめとする観光業界からも、**県をあげての観光博覧会を熱望する声**をいただいていること

上記3点より、今後開催する推進協議会において、大河ドラマを生かした観光振興策は

『県全体で実施する博覧会』形式での実施とする方向で検討を進めてはどうか。

大河ドラマを生かした観光振興の検討の方向性（基本的な考え方）

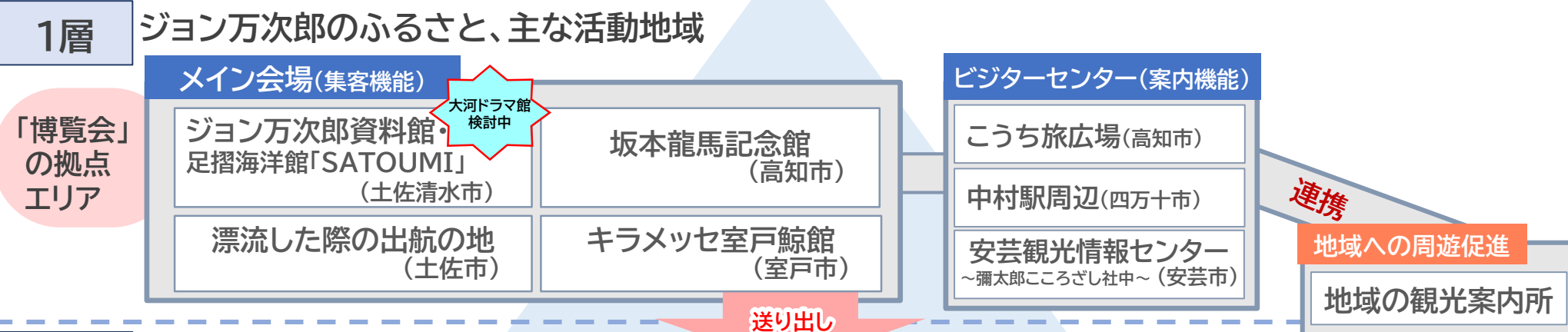
- ・ 令和10年に放送される大河ドラマ「**ジョン万**」を、**本県の観光振興に最大限に活かし**、国際交流の礎を築いた功績と、最後まであきらめない精神を後世に引き継ぐため、**博覧会を開催**する。
- ・ この博覧会を通じて、**地産外商や移住などの人口減少対策の加速化**を図る。

<博覧会開催の5つのポイント>

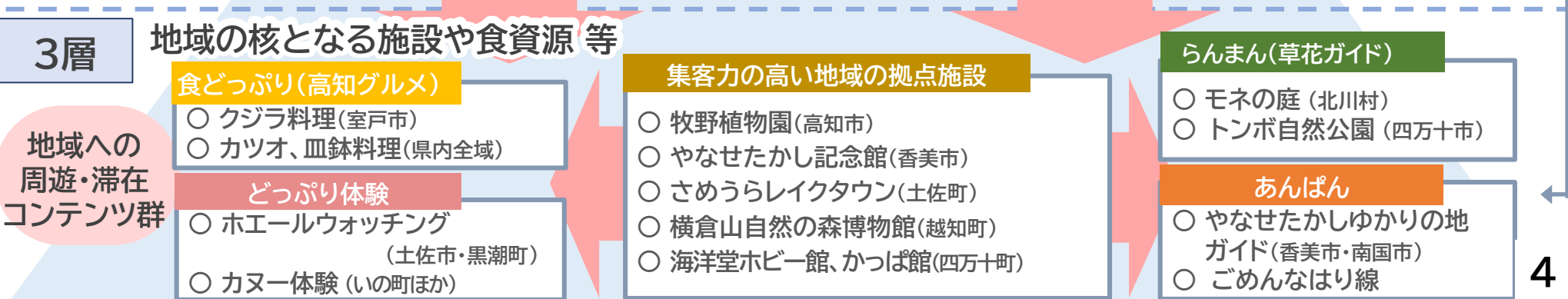
- ① 大河ドラマ「ジョン万」放送の追い風をしっかりと受けて、オール高知で観光振興の取組を進め、令和10年に**県外観光客入込数500万人**を目指す。
・ 過去最高は、連続テレビ小説「らんまん」が放送された令和5年 472万人。
- ② 県内各地で**ジョン万次郎ゆかりの観光素材の磨き上げ**を進め、それらの素材をどっぴり高知旅CPで取り組む体験プログラムや分散型ホテル等と連動させ、**中山間地域への周遊や長期滞在を促進**する。
- ③ 「日米草の根交流サミット」などの**海外ネットワークを交流人口の拡大に活かす**とともに、訴求力の高い体験プログラムの造成や情報発信の強化により**インバウンドの取組を加速化**させる。
- ④ 観光客の誘客のみならず、博覧会の開催に合わせて、**県産品の販売拡大やUIターンの促進も強化**することで、人口減少の克服につなげる。
- ⑤ 博覧会を通じて築いた**周遊促進や滞在延長の仕組みをレガシー**とすることで、将来にわたって中山間地域への誘客につなげる。



大河ドラマを生かした観光振興の検討の方向性 (展開イメージ)



各施設と連動した、各地域の「どっぴり体験プログラム」を組み合わせ、長期滞在を促進



大河ドラマを生かした観光振興の検討の方向性（取り組みの方向性）

受入環境の整備

■特別感のあるイベント等の開催

- プレイベント、オープニングイベントの開催
- 季節ごとの特別イベントの開催
- 県立歴史文化施設における魅力的な企画展の実施

■周遊促進策の展開

- 周遊キャンペーン等の実施
- 二次交通対策の強化

■地域の観光資源の磨き上げ

- 歴史観光施設の磨き上げ、面的なグルメ開発など、市町村が行う消費拡大と滞在延長の取組を支援
- ガイド養成や観光商品の磨き上げ
- 地域通訳案内士の育成

■観光客の満足度向上

- ジョン万次郎ゆかりの地や連動する観光地へのアクセス向上

■県民参加の取り組み

- 県民参加によるおもてなしの実践
- 学校等と連携した機運醸成
- 県内事業者と協働した広報活動等

■市町村・広域観光協議会が主体となる取り組み

- 将来にわたって活用できる観光基盤づくり
- 地域の歴史観光ガイドの養成
- 各地域の拠点となる施設での観光案内機能の強化

誘致・広報

■大河ドラマを契機とした全国での話題化

- 全国メディア、SNS等を活用した情報発信
- 各種PRツールの制作
- ジョン万次郎ゆかりの地や全国区イベントと連携したPR

■ターゲットに応じたプロモーションの展開

- 関西、中四国のローカルメディアを活用した広報
- 交通拠点等でのPR
- 自然・食・文化を中心とした高知の魅力を海外に発信

■旅行会社を通じた誘客活動

- 旅行会社向けセールス活動
- 旅行会社向け商品造成への支援

各分野との連携

■国際交流の推進

- 日米草の根交流サミット2027高知大会の実施を通じた「ジョン万のふるさと」高知の海外への発信

■県産品の販売拡大

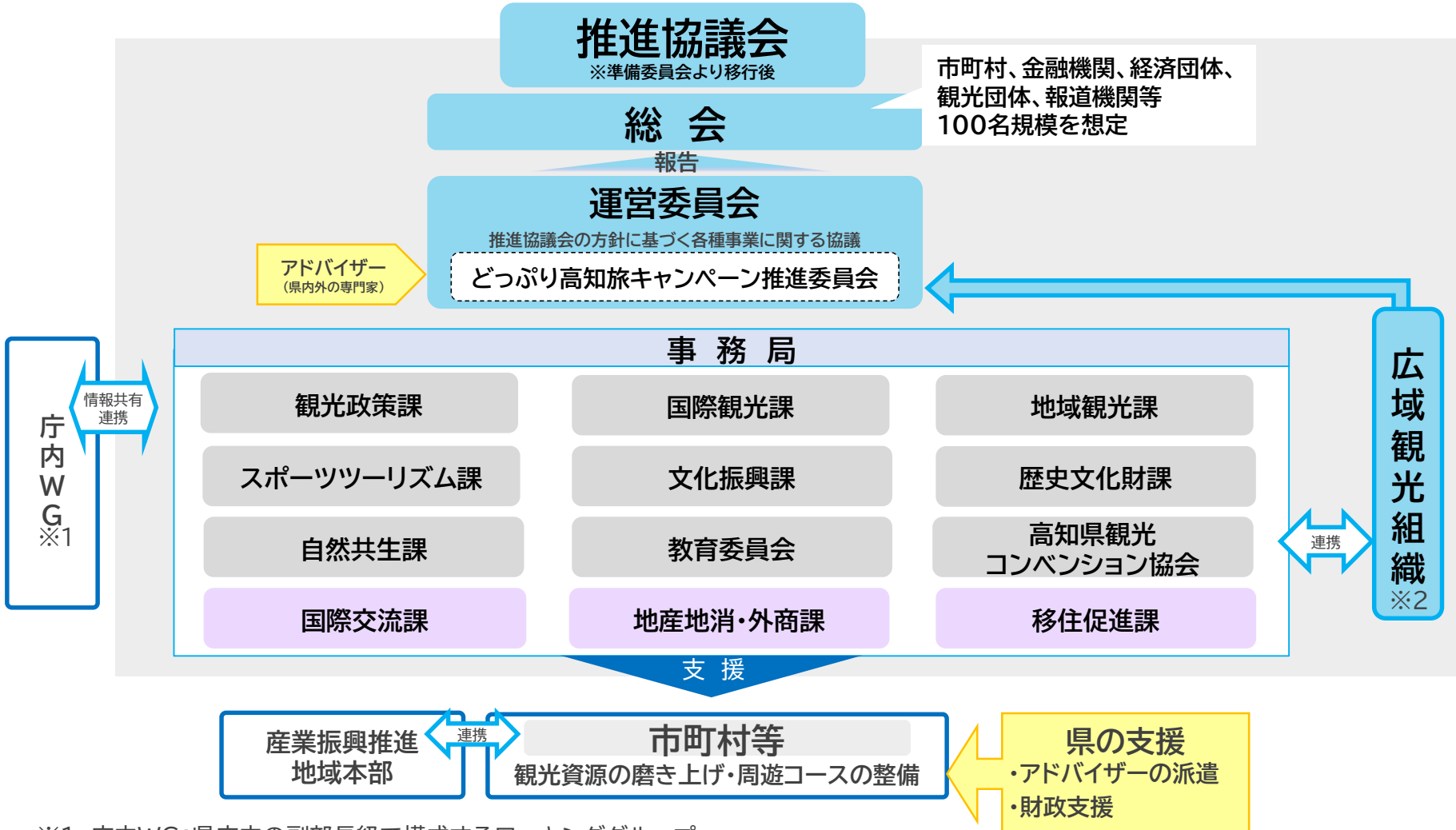
- 商品づくりに向けた支援
- 連動した情報発信やセールス活動の展開

■UIターンの促進

- 大河ドラマの知名度を生かした移住ツアーや相談会などの実施

大河ドラマを生かした観光振興の検討の方向性（推進体制）

推進協議会には、実施内容等を決定する総会と運営委員会を置く。
事務局は、観光振興スポーツ部を中心とする関係各課のほか、高知県観光コンベンション協会が担う。



※1 庁内WG:県庁内の副部長級で構成するワーキンググループ

※2 広域観光組織:複数の市町村を活動エリアとし、広域的な観光地域づくりを担う一般社団法人。
高知県東部観光協議会、物部川DMO協議会、土佐いほく観光協議会、仁淀ブルー観光協議会、奥四万十観光協議会、幡多広域観光協議会の6法人。